

糖尿病患者への禁忌薬一覧

近年、糖尿病治療薬は新しい作用機序を持ったものが次々と開発され、治療についてもひと昔に比べて随分と変遷しつつあります。とはいえ、糖尿病の治療においては、血糖値を適切にコントロールし、血圧など循環器系の管理をはじめ合併症を抑制することが非常に重要であることに変わりはありません。低血糖の発現にも十分な注意が必要です。

例えば、非定型抗精神病薬であるオランザピン、クエチアピンでは、著しい血糖値の上昇から糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡等の重大な副作用が報告され、糖尿病の患者、糖尿病の既往歴のある患者には禁忌となっていますし、他の非定型抗精神病薬のアリピプラゾール、ペロスピロン、リスペリドン、ブロナンセリンでも禁忌にこそなっていませんが、添付文書上では慎重投与となっています。また、ステロイド薬は、肝臓での糖新生を促進するとともに、インスリンに対する感受性を低下させ末梢組織での糖利用を抑制するため、結果的に高血糖をきたし糖尿病を悪化させる惧れがあります。次に、フルイトランなどチアジド系の利尿薬においても、インスリン分泌を低下させ血糖を上昇させる副作用が知られていますし、気管支拡張を目的に使用する β 刺激薬には、末梢でのブドウ糖取り込み抑制、肝臓での糖新生促進作用があり、交感神経刺激作用による糖代謝促進が高血糖をもたらすことから禁忌とされています。

血糖値を下げる性質の薬もあり、特に注意が必要なのは リスモダンやシベノール、ピメノールなどの抗不整脈薬がその代表です。降圧薬の ACE 阻害薬や A-II 拮抗薬は、糖尿病を伴う高血圧症に推奨される一方で、低血糖症の副作用が報告されている点にも注意する必要があります。重い低血糖症を起こす危険性から禁忌とされていた抗菌薬ガチフロキサシンはこの問題により、後日、製造・販売中止となりました。また、 β 遮断薬は、糖新生を抑制すると同時に低血糖からの回復を抑制し、低血糖の初期症状をブラインドしてしまうので、気付かずに投与することで重症化を招く惧れがあります。更には、糖尿病治療薬に分類される薬剤が、ある種の糖尿病には使えない点にも十分な注意が必要です。

今回は、糖尿病治療に悪影響を及ぼす薬剤、特に禁忌とされている薬剤について、従来の医薬品も含めて別表にまとめてみました。

分類	薬品	成分	禁忌	備考
非定型抗精神病薬 (MARTA)	ジプレキサ	オランザピン	糖尿病	血糖上昇、DM性ケトアシドーシス、昏睡等の発現の可能性。警告有(ジプレキサ)、警告有(セロクエル)、警告有(エビリファイ)
	セロクエル	クエチアピン	糖尿病	※SDA(リスパダール、ルーラン)、エビリファイは慎重投与
β遮断薬	インデラル	プロプラノロール	糖尿病性ケトアシドーシス	心筋収縮力の抑制
	カルビスケン	ビンドロール	糖尿病性ケトアシドーシス	※コントロール不十分な糖尿病は慎重投与(糖新生抑制、低血糖からの回復抑制等)
	テノミン	アテノロール	糖尿病性ケトアシドーシス	(特に、非選択性薬剤は要注意)
降圧薬(抗アルドステロン薬)	セララ	エプレレノン	微量アルブミン尿又は蛋白尿を伴う糖尿病	高カリウム血症
降圧薬 (レニン阻害薬)	ラジレス	アリスキレン	ACE阻害薬又はA-II受容体拮抗剤を投与中の糖尿病患者	脳卒中、腎機能障害、高カリウム血症、低血圧のリスク
女性ホルモン薬	経口避妊薬	LNG・EE、NET・EE	血管病変を伴う糖尿病(糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症等)	
月経困難症治療薬 (女性ホルモン薬)	ルナベル	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	血管病変を伴う糖尿病(糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症等)	血栓症等のリスク
	ヤーズ	ドロスピレノン・エチニルエストラジオール	血管病変を伴う糖尿病(糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症等)	
切迫流・早産治療薬	ウテメリン	リドリン	重篤な糖尿病	血糖上昇
栄養剤(たん白アミノ酸製剤)	エレンタール	アミノ酸、他	重症糖尿病	高血糖
	エンテルード	たん白質、他	重症糖尿病	高血糖
	ツインライン	たん白質、他	重症糖尿病	
	ラコール	たん白質、他	重症糖尿病	
	ヘパンED	アミノ酸、他	重症糖尿病	
ヒト成長H	ジェトロピン ヒューマトロープ	ソマトロピン	糖尿病	抗インスリン作用を有するため
抗血栓薬	ワーファリン	ワルファリン	重症糖尿病	出血
糖尿病治療薬	オイグルコン	グリベンクラミド	糖尿病性昏睡、1型糖尿病	インスリンの適用を検討
	ダオニール	グリベンクラミド	糖尿病性昏睡、1型糖尿病	
	グリミクロン	グリクラジド	糖尿病性昏睡、1型糖尿病	
	スターシス	ナテグリニド	糖尿病性昏睡、1型糖尿病	
	ファステック	ナテグリニド	糖尿病性昏睡、1型糖尿病	
	グルファスト	ミチグリニド	糖尿病性昏睡、1型糖尿病	
	グルベス	ミチグリニド・ボグリボース	糖尿病性昏睡、1型糖尿病	
	シユアポスト	レバグリニド	糖尿病性昏睡、1型糖尿病	
	アマリール	グリメピリド	糖尿病性昏睡、1型糖尿病	
	グリコラン	メホルミン	糖尿病性昏睡、1型糖尿病	
	メトグルコ	メホルミン	糖尿病性昏睡、1型糖尿病	
	アクトス	ピオグリタゾン	糖尿病性昏睡、1型糖尿病	
	メタクト	ピオグリタゾン・メホルミン	糖尿病性昏睡、1型糖尿病	
	リオベル	ピオグリタゾン・アログリプチン	糖尿病性昏睡、1型糖尿病	
	ジャヌビア	シタグリプチン	糖尿病性昏睡又は前昏睡、1型糖尿病、重症ケトosis	
	グラクティブ	シタグリプチン		
	エクア	ビルダグリプチン		
	ネシーナ	アログリプチン		
	トラゼンタ	リナグリプチン		
	テネリア	テネリグリプチン		
	スイニー	アナグリプチン		
	オングリザ	サキサグリプチン		
	ザファテック	トレラグリプチン		
	マリゼブ	オマリグリプチン		
	ビクトーザ	リラグルチド		
	ビデュリオン	エキセナチド		
バイエッタ	エキセナチド	重症ケトosis、糖尿病性昏睡又は前昏睡		
トルリシティ	デュラグルチド			
スーグラ	イブラグリフロジン			
フォシーガ	ダバグリフロジン			
ルセフィ	ルセオグリフロジン			
アブルウェイ	トホグリフロジン			
デベルザ	カナグリフロジン			
カナグル	カナグリフロジン			
ジャディアンス	エンバグリフロジン			